

平成 25 年度 第 1 回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

平成 25 年 6 月 18 日（火）10：00～11：30

2 開催場所

札幌市役所 14 階 1 号会議室

3 出席者

(1) 委員

蟹江委員長、岡田委員、小山委員、山下委員、山本委員

(2) 札幌市職員

財政局契約管理担当局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、交通局総務課長、水道局総務課長、病院局経営企画課長 他 9 名

4 次第

(1) 開会

(2) 財政局契約管理担当局長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 事務局からの報告

ア 政府調達の状態等について

イ 参加停止措置状態について

ウ 工事等発注状態について

エ 工事検査について

(5) 平成 25 年度委員会開催予定について

(6) その他

(7) 閉会

5 審議概要

(1) 事務局からの報告

ア 政府調達の状態等について

【小山委員】 家庭用指定ごみ袋を 4 回、4 件に分けて発注しているのはなぜか。

【札幌市】 使用状態を勘案しながら分割して発注している。4 件は、ごみ袋の規格による。

【岡田委員】 1 回目の契約金額が大きいのはなぜか。

【札幌市】 年度の初めということで、できるだけ大量購入して安くできるようにという意図である。

【小山委員】 政府調達に係る協定適用基準額の金額の設定はどのようなものか。

【札幌市】 SDRという国際的な通貨のルールによる。他の政令市も同様の基準となる。

イ 参加停止措置状況について

【蟹江委員長】 競争が激化している中、契約違反等が増えていることについては、今後の推移を注視する必要があると考える。

【山下委員】 資料には札幌市以外の事由も含まれている。札幌市の状況がわかるようにしたほうがよいかもわからない。

【山本委員】 1年以上の参加停止措置が減少傾向にあるのはなぜか。

【札幌市】 19、20年度当時は、談合等の摘発により参加停止措置が加算された業者が多かったことによる。なお、本市では贈賄、談合等に対するペナルティ強化の方針のもと、国が示す停止措置のモデル期間より長く設定している。

ウ 工事等発注状況について

【蟹江委員長】 最低制限価格でのくじ引きが増えており、直近の工事成績をより重視していくような対策が考えられる。発注者側の負担もあると思うが、件数を増やせないか。

【札幌市】 総合評価に関しては、全参加者の審査が必要であることから事務負担が大きく、現状の件数程度が対応可能な件数と考える。

【小山委員】 くじ引き発生割合は、建築が非常に少ない。

【札幌市】 土木系は単価等がほぼ全て公表されているが、建築系は見積り単価があり、積算が困難である。

【山下委員】 土木や舗装のくじ引き状況を見ると、入札手続きは簡素化し、工事の出来具合を重視する方がよいかもわからない。入札に労力などをかけても意味がないように思う。

【札幌市】 品質評価は重要なものと認識している。工事成績とリンクした形での入札として成績重視型を実施しており、件数は増えている。総合評価と比較して事務負担も少ない。

【蟹江委員長】 発注者側の負担を鑑みると、複雑な入札制度は導入困難だと理解できるが、成績重視型を拡大していくことで、業者側のモチベーションに繋がるものとする。負担などを考慮したうえで、そうした仕組みを継続的に検討すべきかと思う。

【岡田委員】 他都市のくじ引き状況はどうか。

【札幌市】 くじ引き発生割合は都市により多寡がある。最低制限価格を算出する際、乱数を用いる都市はくじ引きが少ない。

【蟹江委員長】 乱数を用いること自体が抽選であり、名前を変えたくじ引きのようなものである。

【蟹江委員長】 土木系でくじ引きが増えているが、業者側はどのような考えか。

【札幌市】 意見は様々である。ただ、きちんと積算をした中で乱数のような合理性のない方法が用いられた場合、積算努力が無駄になってしまうこともあり、一定程度のくじ引きはやむを得ないとの意見はいただく。本市としては、くじ引きにより複数同時に受注し、適切な施工体制が組めない等の弊害を懸念するところだが、現状、そうしたケースは多くはないことから、引き続き注視している状況である。

エ 工事検査について

【山本委員】 工事成績評定点の平均が 73 点台となっているが、どのような認識か。

【札幌市】 評定点の平均は 75 点程度と考えている。若干低めではあるが、この前後で推移すればよいかと考える。

【蟹江委員長】 等級による傾向の違いはあるか。

【札幌市】 上位等級の方が高い。下位等級だと書類作成等で評価を落とすことが多い。

(2) 平成 25 年度委員会開催予定について

今年度の委員会開催予定について決定した。

(3) その他

次回の抽出工事の選定は小山委員が行うことを決定した。